

平成21年度 第 1 回 MR 研究会 開催報告

平成 21 年9月12日(土) PM2:00~5:30

茨城県立こども病院 多目的ホール大会議室



茨城県技師会 MRI 研究会

平成21年9月12日(土)に、県立こども病院多目的ホール大会議室において、今年度第1回目のMRI研究会が開催されました。

内容は、以下のとおりです。

1. メーカー講演としてシーメンス旭メディック㈱の諸井氏から最新技術の紹介。
2. 会員講演として県立こども病院の本元氏から、小児のMRI撮影のテクニック等の紹介。
3. 特別講演として亀田メディカルセンターの加藤氏から乳腺のMRIに関する最新の情報を講義していただきました。

プログラム順の詳細内容

プログラム1 メーカー講演



『シーメンスMR装置最新技術紹介』の題目で、マーケティング本部 MR 事業部 諸井氏からシーメンスの現在における最新技術が紹介された。なかでもシーメンスは Tim (Total imaging matrix) を基本にアプリケーションを充実させてきており、受信コイルを全身に張り巡らすことにより、寝台を動かしながら撮影することが可能となる、Tim-CTといわれる撮影法など紹介されました。

プログラム2 会員講演



『小児のMRI撮影について』の題目で県立こども病院 放射線技術科 本元氏より小児のMRI撮影のコツはもとより、こども病院の特殊性から病院のシステムの紹介まで多岐にわたり講義していただきました。やはりどの施設に於いても、こどもを相手にMRI撮影をするのは容易でないと思われませんが、いつもこどもを相手に仕事をしている、なまの声を聞くことができ、中でも鎮静やプリパレイションの話は、興味深いお話でありました。

プログラム3 特別講演



『 乳腺MRI-臨床医・診断医と技師が共有しておきたい情報 』の題目で 医療法人鉄蕉会 亀田メディカルセンター(亀田総合病院)医療技術部 画像診断室 加藤氏から講義していただきました。ご承知のとおり、日本乳がん学会の乳腺診療ガイドラインの2008年版から、検査の推奨グレードの取り扱いに変更があり、今まで乳腺術前広がり診断・多発乳がん検出において「C」であったものが「B」にあがったこともあり、これから乳腺のMRIの需要が増え

ていくのではと思います、乳腺では、全国でもトップの実績を誇る亀田総合病院から講師をお願いしました。

講義のほうもとても分かりやすく丁寧に乳腺のMRIに関する情報を撮影から診断まで、すべてを網羅する内容でとても有意義な内容でした。

当日は17施設49名の参加をいただき、いつにもない盛況振りでした。参加された方々には御礼申し上げます。また予想を上回るほどの参加者に対し、こちらの不手際で資料が不足し、お手元に回らなかった方々にはお詫び申し上げます。

次回の研究会は、来年はじめごろに予定しております。詳細は決まり次第、技師会ホームページにて、案内させていただきます。またの参加を MRI 研究会委員一同お待ちしております。

文責 砂森



会場の様子